

朝のお参りから

別院の一日は、毎朝7時のおつとめ（晨朝勤行）から始まります。

輪番や職員（僧侶）が交代で出勤し、おつとめ後には法話を行なっています。

晨朝にはご門徒やご近所の方々がご参りくださっていますが、ここ数年休むことなくお参りされている方々もおられます。

暑さや寒さが厳しい朝も、雨や雪が降っても休むことなくお参りされる姿を拝見し、とても有り難く思うと同時に身が引き締まる思いにもなります。

以前は、その当時お参りくださっていた方々が体調を崩されるなどして、一時お参りがゼロという日が続きました。僧侶ひとりでのおつとめとなり、寂しい朝が続いたこともありました。

これからは夏本番となります暑さが厳しくなるでしょうが、朝のひとときを堂内において過ごしてみませんか。皆様のお参りをお待ちしております。

晨朝勤行 本堂：讚仏偈 引き続き 中宗堂：正信念仏偈和讃 御文章拝読 法話



境内だより

境内の外、別院築地塀沿いに色とりどりの花壇が並んでいます。毎月境内で地域こども食堂「にじいろキッチン」を開かれている皆様や、近隣の皆様が大切に育てられています。

朝早くから水やりをされるなど細かな手入れを欠かさず続けておられます。

この通りは小学校の登下校路でもあり、朝夕は花を眺めながら楽しそうに歩く子どもたちの声が聞こえてきます。

これからも行き交う人々の目を楽しませてくれることでしょう。



— 別院新職員（僧侶）紹介 —

いしぐろ けんじ
石黒 堅司 〔島根県出身〕

4月より新たにお世話になっています。

これまで本願寺函館別院や宗派宗務所（西本願寺）に奉職してきました。よろしくお願いたします。

また、平成25年9月より別院職員としてお世話になってきました戸川憲成は、3月末日で退職し4月よりあらたに非常勤職員として奉職しています。

引き続き、よろしくお願いたします。



べついでん

だより 第21号



2024（令和6）年7月発行

京都市山科区東野狐藪町2番地
本願寺山科別院

TEL 075-581-0924

FAX 075-593-8822

うらぼんえ 孟蘭盆会（盆法要）のご案内

日時 8月15日（木）午後2時

場所 本願寺山科別院 本堂

法話講師 河村 信 師（滋賀県米原市 上妙寺）

- ・念珠、門徒式章（お持ちの方）をご持参ください。
- ・事前のご連絡は不要です。お誘いあわせてどうぞご参拝ください。

お盆は、経典『仏説孟蘭盆経』に説かれた故事に由来する仏事です。

亡き方々を偲ぶとともに、浄土真宗においては大切な仏法を聴く仏縁としてお迎えいたします。

＜ 盆参りについて ＞

8月6日（火）から15日（木）にかけて、ご自宅に伺います。例年お伺いしている皆様には、参詣予定表を同封していますのでご確認ください。

経本をご準備いただき、一緒におつとめいたしましょう。

＜ 墓前読経について ＞

8月15日（木）午前9時から正午まで、別院墓地での墓前読経を行ないます。当日、墓地内にて受付いたします。（事前予約は受付していません）

なお、荒天の際は休止させていただく場合があります。予めご了承ください。

＜ 本堂での盆参りについて ＞

下記期日において、ご家族ごとに本堂での盆参りも受け付けています。

○ 8月6日（火）～8月11日（日） および8月14日（水）

- ・ご門徒1家族ごとにお参りします。
- ・まずはご連絡ください。その後、日時について調整いたします。

◇本願寺第八代宗主 蓮如上人月忌法要 毎月14日 午後2時 別院中宗堂

おつとめ 引き続き法話 ※4・8・10月はございません

じんじょう
◇晨 朝 勤行（朝のおつとめ） 毎朝7時 別院本堂・中宗堂



しゅう き ひ がん え
秋季彼岸会のご案内

日時 9月22日(日) 午後2時

場所 本願寺山科別院 本堂

法話講師 井上 博雄 師 (滋賀県草津市 円正寺)

- ・念珠、門徒式章(お持ちの方)をご持参ください。
- ・事前のご連絡は不要です。お誘いあわせてどうぞご参拝ください。

彼岸は、仏さまがおられる清らかな覚りの世界である「浄土」のことです。太陽が真西へと沈んでいくその彼方に西方浄土を想い、古くから人々は手をあわせてきました。

なお、今年の彼岸参りは9月19日(木)から25日(水)にかけて、ご自宅に伺う予定です。

永代経法要をおつとめ

6月28日、「永代経法要」並びに「総永代経法要」をおつとめました。

永代経法要は過去8年間の永代経懇志進納者の方々を対象として、毎年おつとめています。

午前10時より、故人のお名前の読み上げと共にご参拝の皆様には焼香をしていただき、私が見教えに出遇えたよろこびと次代の方々がみ教えに出遇ってくださることを願いつつ、おつとめいたしました。

午後2時から、別院ご門徒をはじめご縁ある皆様を対象とした総永代経法要をおつとめました。松林雅楽会による雅楽が奏でられる中、ご参拝の皆様と一緒に仏説阿弥陀経を読経し、引き続き滋賀県大津市・正源寺の三宮義円師よりご法話をいただきました。

朝から雨が降るあいにくの天候となりましたが、遠近各地よりお参りいただき有り難うございました。



— 浄土真宗の葬儀 —

今年もあっという間に半分の月日が過ぎました。そしてこの半年、多くのご門徒が浄土へとご往生されました。あらためて世の無常を知らされます。

コロナ禍の影響もあり大きく変化した葬儀ですが、今一度、浄土真宗の葬儀のあり方を振り返ります。

・臨終勤行(りんじゅう ごんぎょう)

枕元でおつとめするため枕経ともいわれますが、本来は臨終勤行といえます。

ご家族の人生の終わりに臨んで、故人に成り代わりご自宅や式場にておつとめします。

・通夜勤行(つや ごんぎょう)

葬儀の前夜に近親者などが集い、故人を追憶して仏恩報謝の思いのもとおつとめします。

・葬場勤行(そうじょう ごんぎょう)

葬場における勤行で、通夜に引き続き故人を追憶して仏恩報謝の思いのもとおつとめします。

・火屋勤行(ひや ごんぎょう)

火葬場において、棺に点火する前におつとめします。

・還骨勤行(かんこつ ごんぎょう)

初七日としてのおつとめが定着していますが、本来はご遺骨として戻られたことを受けての勤行であり、還骨勤行としておつとめします。

・中陰勤行(ちゅういん ごんぎょう)

中陰とはご往生された日から四十九日間のことです。初七日から七七(四十九日・満中陰)まで七日毎におつとめします。

・百か日法要

ご往生から百日目におつとめする法要です。

※ご遺族とご相談の上、お勤めの日程を決めていきます。



令和6(2024)年 年回(ご法事)表

1周忌	令和5(2023)年ご逝去	23回忌	平成14(2002)年ご逝去
3回忌	令和4(2022)年ご逝去	25回忌	平成12(2000)年ご逝去
7回忌	平成30(2018)年ご逝去	27回忌	平成10(1998)年ご逝去
13回忌	平成24(2012)年ご逝去	33回忌	平成4(1992)年ご逝去
17回忌	平成20(2008)年ご逝去	50回忌	昭和50(1975)年ご逝去

過去帳などをご確認ください。

別院本堂でのおつとめもお受けしています。

